



本誌は、学校経営・運営ビジョンの実施状況や達成結果を保護者や関係者の方に公表することを目的とした、学校が発行する通信誌です。

学校評価アンケート集計結果報告

保護者の皆様には、昨年11月に実施しました「平成30年度学校評価アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今回は保護者・生徒・教員アンケートの集計結果の要点をご報告いたします。なお、本誌裏面には保護者・生徒・教員対象アンケートの集計表も掲載しましたので、あわせてご覧ください。

1 保護者対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は1.9であり、昨年度と同ポイントであった。最高値1.6～最低値2.2といった結果で、アンケート全20項目が概ね良好であったと分析できる。

各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の保護者アンケートでは、評価1.9以上を超える項目は13項目であった。評価が上がった項目は進路指導の充実、PTA・同窓会との連携の点が評価されたり、本校の教育活動が徐々に浸透しつつあると思われる。一方、昨年度よりポイントが減少した学力向上の項目については教育課程を含め、関係各署と協議しながら原因を分析し、対策を講じたい。

本校の特色というべき区分「国際性」に関するアンケート項目で昨年度に引き続き、項目「7」は評価1.6で、全アンケート項目中最高値であった。また、項目「8」は全体の最低値の2.2であり、本校図書部の活動について生徒への情報発信の機会を増やしたり、授業等で書籍紹介を行ったりするなど積極的な取組が必要と思われる。保護者からの意見を真摯に受け止め、改善を図っていききたい。

2 生徒対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び前年度との比較

全体平均値は2.1で、前年度と比べ0.1ポイント上昇した。全20項目中1項目で数値が0.1ポイント程度下降した。生徒にとっては学校や教員の目標設定の意図が伝わりにくい部分があるが、昨年度の反省を踏まえ日頃から目標や目標値を明確にし、取り組んだ成果が現れてきたと思われる。今後も継続していききたい。

各項目の概況及び前年度との比較

前年度末の生徒アンケートでは、評価2.0以上を超える項目は3項目であったが、今年度は11項目と大きく増加した。一方、下がった項目は1項目と大幅に大きく減少した。評価の高かった項目については日々の地道な活動や国際科学科としての特色を生かした取組、各種検定試験を含めた進路希望実現に向けた教育活動を十分に活かすことができたものと思われる。一方、一番評価の低かった項目「2」「4」「11」は内容を精査し、検討課題としていきたい。また、生徒の意見を取り入れるなど評価を得るための工夫が必要である。なお、評価2.2以下の項目については原因を検証していききたい。次年度は今年度の評価を維持できるよう、精進していききたい。

3 教員対象アンケート結果の分析

年度末の全体概況及び中間、前年度との比較

年度末の全体平均値は前年度と同数値1.8であったが、今年度中間アンケートの数値よりも0.3ポイント上昇しており、概ね良好な評価と判断できる。個々の項目については、今後も反省・分析を継続していききたい。

各項目の概況及び前年度との比較

アンケート20項目のうち、昨年度より評価の上昇した項目は12項目、下がった項目は3項目、変わらなかった項目は5項目であった。一番評価の高かった項目は項目「5」「7」の2項目で、評価1.5である。それぞれ、教務部・国際部・進路指導部に係わる項目であり、各部がある一定の満足いく取組ができたものと分析できる。一方、一番評価の低かった項目は項目「8」「11」で、「8」は対前年度比で同数値、「11」は+0.2の評価2.2である。20項目中、評価が2.0を上回る項目が「8」「9」「11」の3つで、とりわけ項目「8」はここ数年高い評価が得られていない。関係部署と反省するとともに、評議員の方々から忌憚のない意見を頂き、改善に向けて継続的な取組を検討していききたい。

*なお、アンケートに際し、保護者の皆様、生徒からよりよい学校づくりのための様々なご意見をいただきました。今後とも貴重なご意見を真摯に受け止め次年度以降の学校づくりや生徒指導に活かしていくとともに、より充実した学校評価活動を行って参りたいと存じます。